



「ライン河畔より」

「あなたは生まれ故郷 父の家を離れて わたしが示す地に行きなさい。」

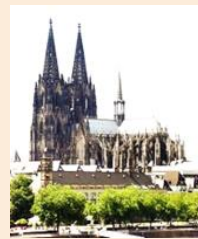
創世記 12 章 1 節

ホームページ <http://www.komatsugawa-ch.com/PfarrerIn-Ryokosasaki>

ケルン・ボン日本語キリスト教会ホームページ <http://koelnbonn.jp/>

佐々木良子宣教師ドイツ連絡先 Breslauer Str.26. 50858 Köln Germany

Tel : +49 1512910 6278 E-mail: r310130s@gmail.com メールアドレスが変りました。



ご挨拶 Guten Tag ! 主の聖名を賛美いたします。



主の年 2024 年がスタートして 1 カ月が過ぎようとしています。今年はじめてお便りいたします。
「わたしたちの神よ、今こそわたしたちはあなたに感謝し、輝かしい御名を賛美します。」
(歴代誌上 29 章 13 節) 敬愛する皆さまが日々主に賛美をお捧げすることができ、主との豊かなお交わりの中で、祝福された一年となりますようにお祈り申し上げます。

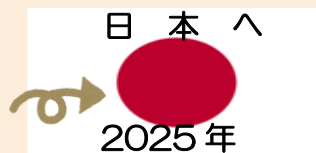
私は教会のメンバーと共に健康が支えられて、主の御言葉から希望を頂いた年始となりました。しかし日本では、能登半島地震や飛行機事故等で心痛む年明けとなり、被災地、被害に遭われた方々の深い悲しみと緊張はいかばかりかと拝察いたします。主の慰めと力が与えられ、全ての必要と助けがありますように、教会の方々と共に心併せて祈り続けて参ります。

近年は思いも及ばないようなことが次々と起こっていますが、多くの
方々が変わることなくドイツ宣教の業をご一緒に担ってくださるので、ど
れ程励まされていることでしょうか。言い尽くせない感謝の思いでいっ
ぱいです。とても一人では成し得ないことです。本年も心寄せて頂けた
らとても心強いです。一方、長きに亘りお支えくださった方が天に召さ
れて一抹の寂しさを感じていますが、きっと天の御国で主と共に声援を
送ってくださっているだろうと思い巡らしています。

2024 年という年は、ドイツでの宣教・教会生活等、公私共に締めく
くりの特別の時ですから緊張と責任を感じ、プレッシャーになっていま
す。とはいえ、尻込みするのではなく、イエス様のお誕生の際にお祝い
に來た東方の博士のごとくひたすら主を求め続け、これまでとは違った
新しい世界に踏み出せるようにと祈っています。同時にしみじみとした
気持ちも……。教会の姉妹から「今年は毎日が最後と思う日々の生活
ですね。」と、新年のご挨拶を頂き、万感胸に迫るこの頃でもあります。



年明けの花火・ケルン大聖堂
お正月を告げる花火の音



2016 年 4 月、「あなたは生まれ故郷 父の家を離れてわたしが示す地に行きなさい。」(創世記 12 章 1 節)と、主の御言葉に押し出さ
れて、ドイツに遣わされ二度の任期延長を経て、9 年という歳月を迎えようとしています。海外居住の経験はなく、ドイツ語もできない
私でしたが一抹の不安もなく、むしろ示された地で主との出会いに期待と希望を抱いて着任しました。空港までお迎えに来てくださ
った教会の方の車に乗ろうとする時、一瞬、大きな虹が出て、主が応援してくださっているように思えました。

あの時からあっという間に月日が経ち、日本への本帰国が近づいている現在、不安に駆られた時がありました。生まれ故郷に戻るの
に、ドイツ語のストレスもなくなるのに何故と、自問自答していた時にハッと気づいたのです。ドイツでの生活は経験値ゼロでしたから
何も考えることができないので、悩む材料すらなかったのです。全てを主にお任せでした。

ところが。帰国した時のことを考えると多種多様な思いが錯綜しました。ドイツでの経験が日本で生かせるのか、また、懸命に支援し
てくださった方々の期待にお応えできるのだろうか…。憶測逞しく不安材料を次々と作り出していたのです。しかし最近になってドイ
ツに飛んできた時のように、無の状態を示された地で主との出会いを楽しもうと思えるようになったところです。環境が大きく変わる
ということは、このような葛藤の中で、自問自答しながら少しずつ前進してゆくことなのかもしれません。

*** 今後の教会の歩み ***

2025 年以降の教会に関して、3年前から懇談会を開きながら、教会員同志の思いを共有してきましたが、行き着く先は今後日本から牧師を招聘することは、現実的に不可能であろうということでした。しかし、主の目は私たちの教会を見ておられ、この小さな群れから献身者 S 姉妹を起こしてくださいました。諸々の課題はありますが、兎に角やっと小さな一歩を踏み出すことができました。

S 姉はこの世のお仕事をしながら、まだ学びの最中ですから全面的なお支えが不可欠です。そうしたところ昨年 11 月の懇談会では、既に教会員の方々がその心構えを表明し、更に建設的な意見が繰り広げられていきました。何事にも切り替えの早いケルン・ボン教会の皆さまの逞しさが、更に拍車がかかったように思えました。

もしかしたら、私だけが子離れできない親のような者なのかもしれません。新しい歩みに際し、主に希望を置き、教会員の方々が持つておられる賜物や底力に信頼して、私は余計なことを思わず、言わず、静かに見守れるように心がけたいです。教会に連なる皆さまがキリストの御身体の枝であることを自覚して、教会全体に良い影響を与えられるように願っています。しかし、何といっても教会の頭は主ですから、主の御心と導きを第一に、神の国と神の義を教会員の方々と切に祈り求めて参ります。

*** これまでの歩み トピックス ***

★フランクフルト福音キリスト教会修養会に参加 10 月 20 日～22 日

私が発題者として招かれたので教会の姉妹方も参加されました。M 姉は、2025 年以降の教会について案じていたそうですが、お交わりや懇談の時を通して、教会同志の絆に感激し、ケルン・ボン教会が孤立することはない、と確信を持つことができたと言いつつ満面の笑みを浮かべて帰路につきました。欧州にある教会の今後は各戸教会主義から脱却し、連携の必要性に目覚めた修養会でもありました。



★前任教会・小松川教会にて支える会による「バザー」11 月 26 日

「利益よりも、ドイツの働きに再度目を向けて頂こう」という趣旨で開催してくださいました。赴任して 9 年が経とうとしていますが、海外に飛んで行った私を忘れずに、多くの方が支えてくださっているのは、委員の方々のこのような情熱と熱意があるからこそ、と改めて実感しています。誠に頭がさがります。



★四年振りのページェント礼拝&祝会 12 月 17 日

恒例となつていますが、コロナ禍や中心となつていた子どもたち、そのご家族の殆どが日本に帰国されたので、中止せざるを得ない状況でした。しかし、昨年は「大人だけでもやろう!!」と思い切って再開したところ、ブリュッセル教会からも参加され、全員に役が当たるだろうかという嬉しい悲鳴となりました。大道具、小道具は日本に帰国されたママたちの作品で教会の貴重な財産です。会堂をお借りしているボン・ヘッファー教会の牧師先生は、祝会に参加され、一言メッセージを頂きました。お楽しみの 5 ユーロのプレゼント交換等、イエス様のご降誕を大勢の方と喜び分かち合い、ほっこりとしたクリスマスになりました。



★ブリュッセル教会での定期的なご奉仕 今後の欧州の課題

隣国にあるブリュッセル教会は無牧が続いており、第 4 主日を除いて、3 年前から私たちのスカイプ礼拝に参加されています。イースターやクリスマス等は有志の方がケルンにおいて、合同礼拝もお捧げしてきました。

昨年 11 月・12 月には私が出向いて、聖餐式や説教のご用等をさせて頂いたことをきっかけに、今年からは月に一度お伺いすることになりました。無牧の中、信徒の方が賢明に教会をお支えしているお姿に心打たれました。留守のケルン・ボン教会は献身された S 姉が御用して下さいますので心強いです。

欧州には牧者が不在の教会や集会等が多くあります。また、欧州全体が過渡期を迎えているように思います。昨年開催された教職者研修会に参加された先生方の 2/3 は、日本へ宣教師として遣わされて母国に戻られたドイツ人の先生方でした。日本人の方が少ないという、今迄とは全く違った構成となってきました。今後はドイツ人の元宣教師の先生方が日本語教会に大いに用いられてゆく時代になりそうです。

★嬉しい新年礼拝 1 月 7 日

お仕事をもっている若いママは、子どもたちをパパに預けて礼拝にいらっしやいました。休暇後の現実に戻るにあたり、心を整えられたのでまた前向きに歩めるということです。彼女は日本ではキリスト教主義の学校に通っておられた方で神様をご存知の方です。更に教会に繋がることを祈っています。



教会の方が折った千羽鶴
鶴が舞うボン・ヘッファー
教会のクリスマスツリー



～ブリュッセルの教会より～

クリスマスアドヴェントカレンダー作り&ファミリー礼拝 (2023年11月26日)



この日のためにケルン・ボン教会の佐々木良子先生がきてくださり、子供向けの礼拝とその後恒例のアドヴェントカレンダーを作りました。集まってくれた子供は5人、久々に足を運んでくれたファミリーもいて、礼拝後子供達は楽しく思い思いのカレンダーを作成し、大人はその時間にお茶をしながら久々の再会に華が咲きました。



ファミリー礼拝はクリスマスの賛美歌から始まり、いよいよこの季節になったなとワクワク♪。紙芝居にじっと見入り、その後の先生のクイズを交えたお話にもみんな集中しながら楽しく答え、おもわず顔もほころびました😊。
普段は大人のみの教会だけど、今日は子供の声が聞こえ先生もいらしてくださり、これこれ！これが教会だと心までぽっかり暖かくなりました。子供達にイエス様が来た喜びのメッセージが伝わっているといいなと思います。

ファミリーでいらした方は、佐々木先生が日本で仕えていた教会の同じグループの方だったので共通の話題に華が咲きました。世界は繋がっていることを改めて思いました。

ちょこっとコーナー

天使がいっぱい

毎年、樅ノ木を飾る時、運搬から全て一人でやるのが私流のクリスマスの楽しみで、このように生の木を飾る事ができるのは今年が最後になるかも、と意気込んで、天井まで届く程の大きなものを購入してしまいました。

園芸屋さんがショッピングカートを借してくださり、ガラガラ引っ張ってきたものの、途中の段差で動かなくなりました。丁度向こうから人がやってきて「手伝おうか？」と。先ず、一人目の天使が現れました。

四苦八苦の果てに我が家に到着しましたが、エレベーターのない4階まではどうにも一人では上げられず、流石にお手上げ状態でした。しかし、滅多に出会うことのない1階にお住まいの方が丁度帰宅されたので一緒に担いでくださいました。二人目は髭の生えた天使。昨年はお向いに住んでおられるスペインの天使。

私にとって、ドイツのクリスマスの思い出の一つは、この時にだけ火事場の...のごとく信じられない力が与えられること。そして、必ず助け手が現れること。ドイツには、至る所に沢山天使が存在しています。みなさん、本当にありがとう!! 今年は特に苦労したので、1月末まで飾ることにしました。



私はドイツ語の天才!!

ブリュッセル教会のご用の為に留守にしていた時、天井からの雨漏りがありました。我が家のみならず、アパート全体が被害に遭遇していたのです。階下の方が我が家の被害を見に来られたので、「私はベルギーに仕事にいていたので、発見が遅くなった」といったら、「そう、ベルリンに行っていたのか」という返答。

私の発音が悪くて、彼には「ベルリン」に聞こえたようでした。訂正しようと思いましたが、まあどっちでもいいやと。兎に角留守にしていたことには間違いなのです。ということで、私はベルリンに行っていたことになりました。

その後、被害状況の調査や乾燥機の搬入など、業者とのやりとりが始まりました。トラブルも一大事です、業者間への対応はもっとプレッシャー、冷や汗ものです。ある時、留守電が入っていて、再生1回目は理解不能、再度聞いている内に「雨漏り・天井・乾燥機・予約」という単語を聞き取ることができ、「ムムム。。。雨漏りのための乾燥状況を確認したいので、業者との予約をとるように」と、理解して連絡をとることができました。私の想像力はスゴイと自画自賛。

2カ月間の乾燥を終えて、これからペンキ塗りです。今度は別の業者とのやりとり。また天才振りを発揮せねば!!!ドイツ語は連想ゲーム感覚で楽しんでいる私。そうしないと生きていけない私。

ドイツ人の忍耐強さ

ドイツ鉄道の乱れは有名ですが、最近は輪をかけて酷くなっています。散々待たされた挙句、突然電車のキャンセルや、途中で降ろされることは日常茶飯事。先日は1時間45分、待たされましたが、兎に角電車に乗れたので感謝です。待たされた挙句に感謝できるとは、お陰様で私も大人になりました。

ある時は乗車ホームが3回も変り、その度に民族大移動。しかし、誰一人文句もいわず、忍耐一筋。その日は家庭集会のために家を出たのが12時、滞在時間は2時間程で、家に帰宅したのは夜の10時30分でした。流石にヘトヘト。ドイツで電車に乗る際には大きな覚悟と深い忍耐が必要です。

新しい造語・生牧師 ➡ ナマボクシ

無牧のブリュッセル教会に初めて出向いた時、ある姉妹が「今日の礼拝はナマボクシよっ、嬉しい〜」と歓迎してくれました。

今迄の礼拝はスカイプで繋げていたので、対面での礼拝、聖餐式は初めてでした。なるほど、実物の牧師、私は「ナマ」で、フレッシュなんですよ〜🍷

佐々木良子宣教師を支える会 会計報告

主にあってこの1年、皆様の御加禱とあたたかいご支援を心から謝いたします。

2023年4月1日～2023年12月31日			
		(単位:円)	
収 入		支 出	
支援献金	2,290,450	宣教師支援金	1,631,904
イースター献金	10,000	社会保険料等	105,600
クリスマス献金	54,000	支援金(クリスマス)	0
夏期献金	16,000	一時帰国宣教費用	5,800
一時帰国宣教感謝	15,000	ミニバザー費用	46,990
ミニバザー売上	81,180	教会感謝献金	45,000
雑収入(受取利息)	29	支援金(光熱費)	450,000
預り金	210,000	ニュースレター14号発行	46,270
		事務通信費	9,364
		委員会費	1,944
		雑費(振込手数料)	16,772
		雑費(郵送通知料)	8,030
		退職手当積立金	0
		預り金	154,000
小 計	2,676,659	小 計	2,521,674
前年度繰越金	7,153,833	次月繰越金	7,308,818
合 計	9,830,492	合 計	9,830,492

献金者 ご芳名 (敬称略 五十音順) 2023年4月1日～2023年12月31日

支援献金

相原美枝子 青池博美 阿部順子 石井泰子 石川圭子 石川 徹 石川真知子 石崎孝司 伊藤いく子 伊藤君江 伊藤祐子 伊東みどり
井上 馨 牛山輝代 内城節子 浦川 肇 浦川恵子 江坂宏子 大作 寿 大橋 章 大淵美智子 岡崎 響 尾田信子 小澤百代 鹿郷雄通
加賀谷則子 片山まどか 桂川信子 加藤悦子 金子栄子 金坂久子 金田佐久子 金森勝芳 加納和寛 亀井耕二 神尾祐美子 川田裕生
木下宣世 北野節夫 北野順子 北野 信 北野 拓 木原恵子 久多良木和夫 久多良木志津子 空閑信憲 熊谷千鶴子 黒沢龍吉 黒沢咲子
小泉 誠 小泉眞理 小林興司 小宮房江 近藤眞一郎 近藤美穂子 齋藤悦夫 齋藤喜江子 斉藤幸子 佐伯千恵子 柴 直美 相良佳子
佐久間文雄 佐々木千沙子 佐藤恒夫 佐藤フデ子 佐藤 誠 佐藤陽子 澤田 武 澤田直子 澤田大河 澤田拓生 蔀 利勝 蔀 清江
篠原照美 嶋 優子 島 隆三 島 静江 嶋本 修 嶋本洋子 清水 潔 白井 均 白井昭子 神 和子 神保ふみ子 鈴木 啓 鈴木恵子 鈴木洋史
鈴木初子 鈴木優子 曾根邦彦 高野加奈子 高橋みどり 高花富夫 瀧田茂子 田尻可納子 蓼沼 貢 蓼沼百合子 田村久美子 辻浦健久
都築つゑ子 都築英夫 寺村智恵子 嶋巢香穂利 嶋巢和徳 当麻民子 中山良江 永井美智子 西海満希子 西村淑子 西村愛 坂井太一郎
坂井教子 沼 みどり 原嶋和夫 張谷延河 張谷麻帆 廣田貞子 深沢 修 深谷春男 深谷美歌子 福田真希子 藤野洋子 藤本邦彦 藤本幸子
藤本律子 藤森知子 藤谷正一 星野 環 細田多恵子 本城仰太 本田昌義 牧田 茂 榎本早苗 松井美代子 松本幸子 箕輪幸子 皆川昌子
宮崎勇 宮崎美代子 宮地多穂子 宮本峯子 宮本明実 宮本容子 明瀬眞弓 村尾きよ子 村松紀子 物井恵一 物井ますみ 森山和彦
八重樫幸栄 八重樫福子 柳川義也 柳瀬明子 山崎広子 山下 誠 山畑咲子 山本房枝 山本史子 横田光江 横山勝よ 横山義孝 和海豊子
渡部裕子 和田洋子

赤羽教会 浅草教会 荒川教会 インターナショナル・バイブル・フェローシップ 大阪教会 柏教会 亀戸教会 京都復興教会
小松川教会恒励会 小松川教会婦人会 下谷教会 清水ヶ丘教会海外宣教会 洗足教会オリーブの会 喬木教会 西宮教会
日本キリスト伝道会 ホーリネスの群首都圏教師会 三崎町教会みさき基金 宮崎清水町教会

イースター献金 佐藤誠 夏期献金 栗山照子 佐藤陽子 辻浦健久 天門教会 特別献金 鈴木優子 藤本三四四

一時帰国宣教報告感謝献金 岩沢崇 岩沢二三子 志木教会 鈴木優子

クリスマス献金 浦川 肇 浦川恵子 佐藤誠 佐藤陽子 春原禎光 高野加奈子 橋本弘子 辻浦健久 西村淑子 清水ヶ丘教会海外宣教会

＊ ＊大変失礼ながらお名前が洩れた方がおりましたらお知らせくださいますようお願いいたします。

一 編集後記

元日夕刻、発生した最大震度7(激震)の能登半島地震で被災された方々に主の慰めと励ましと力を与えてくださるとともに、少しでも早い復旧を切に祈ります。

いつも佐々木良子先生のお働きのためにお祈りとお支えをいただき感謝申し上げます。昨年のお働きを毎月配信のメールマガジンから垣間見ますと、1月1日新年礼拝で年間聖句「あなたこそエルロイ(わたしを顧みられる主)です。」(創世記16:13)が与えられスタート。2月末から4月初めまで、3年ぶりの一時帰国報告会。5月にはガウディ建築で有名なサグラダファミリア教会で説教。8月は「ヨーロッパキリスト者の集い」で子どもたちに説教と聖歌隊のピアノ伴奏。12月はブリュッセル教会のファミリー礼拝、ケルン・ボン教会の4年ぶりのページェント礼拝・・・と神様は豊かにお願い下さいました。

本年も佐々木先生を神様が霊肉ともに強めてくださり、さらにその働きを用いてくださいますようお願いとお支えをお願い申し上げます。(S・K)

佐々木良子宣教師を支える会公式ホームページ
<http://www.komatsugawa-ch.com/PfarrerIn-Ryokosasaki>

ケルン・ボン日本語キリスト教会ホームページ
<http://koelnbonn.jp/>

連絡先 「佐々木良子宣教師を支える会」会長 物井恵一
〒134-0081 東京都江戸川区北葛西4-3-9・小松川教会内
Tel:03-3869-5261 Fax:03-3869-5262
Email: rsmmissionary.hp@gmail.com

送金先 郵便振替: 00120-3-450845
銀行口座 三菱UFJ銀行小松川支店 店番463
(普通) 口座 01138 5 6

＊定期的月額献金一口1000円から・随時自由献金
＊上記口座名義:佐々木良子宣教師を支える会
会長 物井恵一